

生徒指導だより「こころ」

平成28年10月14日(金)

NO. 11 文責 堀 晴昭

保護者に向けて

中高生の間で急速に広まるスマートフォンアプリ「LINE」。朝日新聞に「わたしも子も翻弄され」という見出しで次のような投稿記事が載っていました。保護者のみなさんのご家庭でも同じような場面や悩みがないかと思い、記事にしました。実際、携帯・スマホの所持率や「LINE」の利用率は本校でも増加していますし、友だちの写真を無断で載せる事案も以前起こっています。これから先トラブルが起きないかとても心配しています。

(事例1)

横浜市の母親(42)は、LINEを巡る親子げんかの日々を報告してくれた。中学3年の息子はスマホでLINEやゲームにはまった。親の目を盗んで深夜まで。朝起きられず、学校に遅刻するようになった。「もうやめる」と約束しても守れず、何度もけんかになった。

(事例2)

都内の中学2年の息子の母親(51)は「自分の家だけのルールじゃ通用しない」と頭を抱える。「午後8時以降はスマホ使用禁止」とルールを決めた。だがほとんど守れない。学校以外どこへでも持ち歩く。学校で無視されたり、LINEで悪口を言われたりするのが心配だと、常に画面を気にする。成績も落ちた。

(事例3)

栃木県の母親(42)は、娘の高校入学時に根負けしてスマホを買った。同じ組になった子たちがLINEのID交換をしてグループをつくる様子を見て、涙ながらに「買って」と訴えてきたからだ。さらに中学2年の息子までもLINEがしたいと言い出した。「買い与えたくない、でも友達付き合いも心配」。親心は揺れている。

後を絶たない「LINE(ライン)」による事件

ラインのトラブル相談は、年々増加傾向にあり、新聞でもこの話題は、よく取り上げられ掲載されています。今一つの社会問題になっています。

(事例1) 広島県呉市

「友人を殺し、山中に遺棄した」「6月下旬に友達と2人で山に行き、そこで殺して捨てた」などと話し母親に付き添われ、警察に自首。「ライン」で誘われた元同級生は、容疑者7人が乗るワゴン車に乗り込み、集団暴行の末、殺され、遺棄された。もともとは「ライン」でやりとりする仲の良い友だち同士。メールの内容がトラブルの原因。

(事例2) 京都市

少女がラインでの連絡の返事を返さなかったことに腹を立て、蹴る・殴るをした。→加害者逮捕

(事例3) 広島県山県郡

ラインの呼びかけを被害者の男子生徒に無視されたため、両足を縛り、川に突き落とすなどして殺害しようとした。→逮捕(殺人未遂)

(事例4) 愛知県小牧市

「殴られたいのか」と脅して計10万円の支払いを求める内容のメッセージをラインで送るなどして、恐喝。→逮捕(自殺)
これらは、ほんの氷山の一角です。こういう事件が毎年、全国で何十件も起きているそうです。

生徒に向けて

現在スマホ等で、LINEなどのSNSを利用している生徒が増えています。問題はその中身です。自分のことを書くのは自由ですが、人の悪口を書くとそれは大きな問題です。携帯やスマホを持たせたり、持たせなかったりするのには家庭の考え方であり、学校で禁止することは難しいです。学校でできることは、携帯・スマホを学校に持ってこさせないこと、使い方に気をつけるように言ったり、危険性を教えることぐらいしかできません。大事なものは携帯・スマホを使う生徒のみなさんの心です。何かあってからでは取り返しがつきません。危険はみなさんのすぐそばにあるのです。この機会にもう一度使い方を振り返ってみてください。

《こんな新聞記事が載っていましたがどう思いますか》

- 「あいつちょっとうざくねー」と書き込んだことに仲間が反応。「おまえの方がうざい。」「なまいき」など中傷の書き込みが始まる。我慢できなくなって着信を拒否すると、学校で殴られるようになった。
- 今、仲間外れを恐れ、入浴中もトイレの中も、LINEを止められない中高生が多い。また、夜中までLINEを使って寝不足の生徒があふれている。

右の新聞の見出しの意味はわかりますか？「24時間返信地獄」とは、いろんな人とラインをしていけば、いろんな時間にいろんな内容でラインが届きます。当然ラインが来れば返さなければなりません。返さなければ、送った人は無視をされたと思われ、不愉快になります。そこから悪口を言われたり、いじめられたりすることを恐れ、みんな必死で返信をするのです。ですから寝るひまもないということです。ばかっていますよね。ラインは本当に必要なのでしょうか？やるべきことは他にたくさんあるのではないのでしょうか？



便利な物ほど使い方を一歩間違えると、とても危険なものになる。正しい使い方ができなければ持つ資格はない。すぐに解約を！

※親子で真剣に考えてほしいです。何かあってからでは手遅れです。熊本県内でも2年ほど前に、携帯電話で大きな事件(殺人事件)が起きています。